

カタライザーで美肌を科学する トラブル肌から自慢のお肌へ

～肌を知って、きれいを育てる～

くすりのファイン 城田正俊



Ⅰ 「美肌」ってどんな肌？

みなさんが思う「美肌」とは、どんな肌でしょう？

- うるおいがある
- なめらかでキメが整っている
- ハリや弾力がある
- シミやくすみが目立たない
- 健康的で明るい印象がある

実は「美肌」の基本は、肌が本来持っているバリア機能がきちんと働いていることです。

肌のしくみ

資料①

表皮（角質）

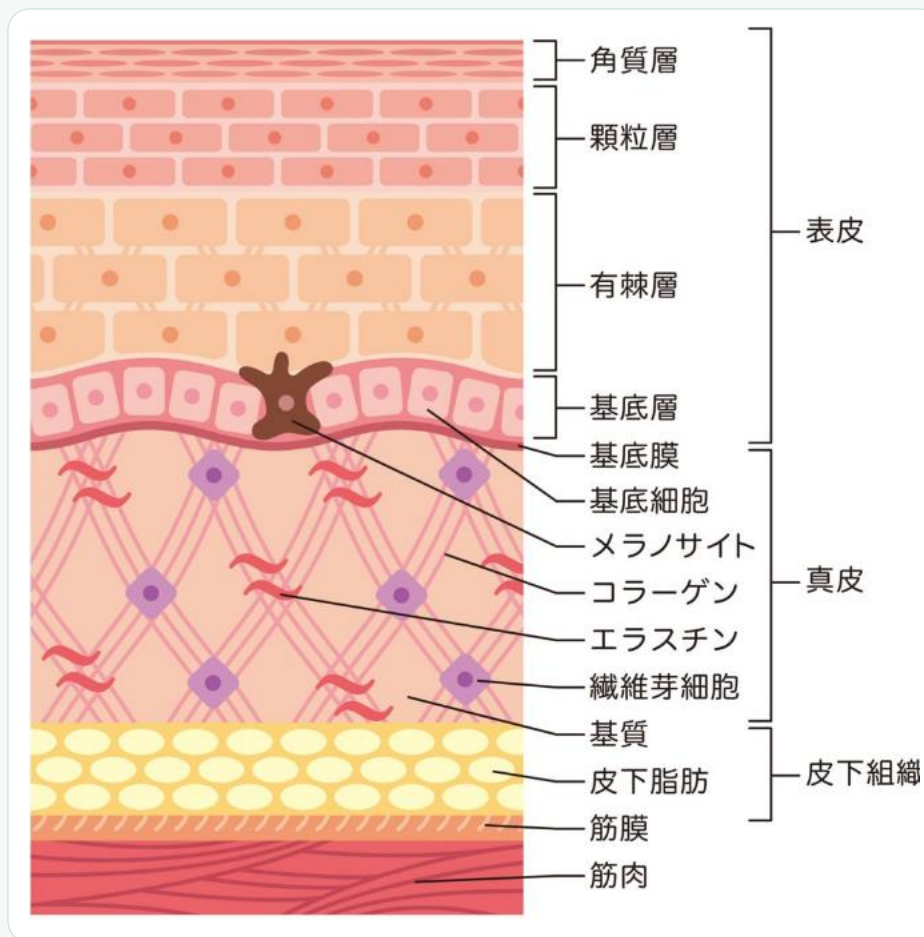
外からの刺激から身体を守る、一番外側の部分。

真皮

コラーゲンやエラスチンなどがあり、肌のハリや弾力を支えています。

皮下組織

脂肪などからできており、身体を外部の衝撃から守ったり、体温を保ったりします。



！美肌のカギは「角層」

表皮の一番外側にあるのが表皮層の「角層」です。

01

水分を保持する

02

外からの刺激を防ぐ

03

肌から水分が逃げるのを防ぐ

という大切な役割があります。

肌のバリア機能を守ろう

肌のバリア機能が低下すると

- 乾燥する
- 肌がつっぱる
- 刺激を感じやすくなる
- 肌荒れが起こりやすくなる

バリア機能を守るためには

こすらない

洗いすぎない

保湿をしすぎない

「こすらない・洗いすぎない・保湿をしすぎない」この3つを意識することが大事です。

肌荒れの大きな原因「外的刺激」による角層の損傷

資料②



角層損傷の原因

- 紫外線
- 漂白剤や塩素など化学物質による刺激
- マッサージやピーリングなどの過度な刺激
- お化粧品やカラー剤などの刺激
- 保湿剤（ワセリン、ヘパリン類似物質、保湿クリーム、天然オイル等）の刺激
- 洗顔料（石鹸等）の刺激

上記の刺激は徐々に肌の奥まで届き、長期的にはハリや弾力の低下などに関係します。

「洗顔」は美肌のため？

汚れを落とすことは大切ですが、「落とせば落とすほど良い」わけではありません。

洗いすぎたり、強くこすったりすると、肌のバリア機能を損なうことがあります。

「汚れは落とす。でも、肌は守る。」

このバランスがポイントです。

「高価な化粧品＝美肌」ではない

高価な化粧品を使えば、必ず美肌になるとは限りません。

大切なのは、次の3つです。

自分の肌に合っているか

続けて使えるか

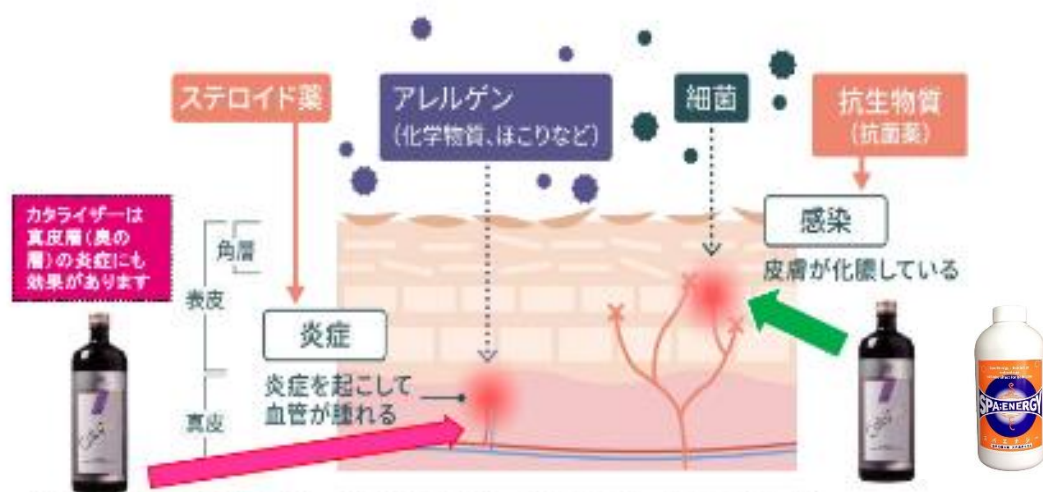
正しい方法で使っているか

「高いもの」より「自分に合ったもの」

「敏感肌用」「無添加化粧品」「オーガニック化粧品」と書いてあったからと信じ切っている方が多くいらっしゃいます。また「美容の悩み」と「治療が必要な皮膚症状」は分けて考えることが大切です。

カタライザーは皮膚再生を促し角質層を修復するように働きかけます

毎日お肌は頑張って綺麗な肌に戻ろうとしています。
カタライザー、銀河水は頑張るお肌の強い味方です！



角層は表皮の一番外側にあり、角層細胞が10～20層重なってできています。
20層が垢となってはがれ落ちるのに28日×20層=560日かかる計算になります。
炎症がある場合や加齢によりさらに28日の周期は長くなり、56日かかる人もいます。

ターンオーバー模式図

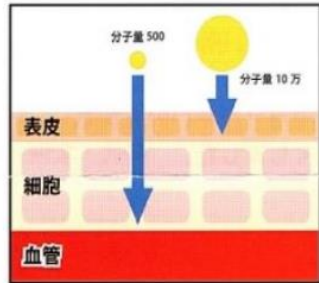


(イメージ図)

カタライザーの効用

資料④

■ カタライザーの分子はとても小さい



一般的なヒアルロン酸が分子量 100 万前後、コラーゲンが 30 万前後なのですが、カタライザーの成分の分子量は 500、肌にしっかり浸透して力を発揮します！

■ 天然ミネラル成分がたっぷり



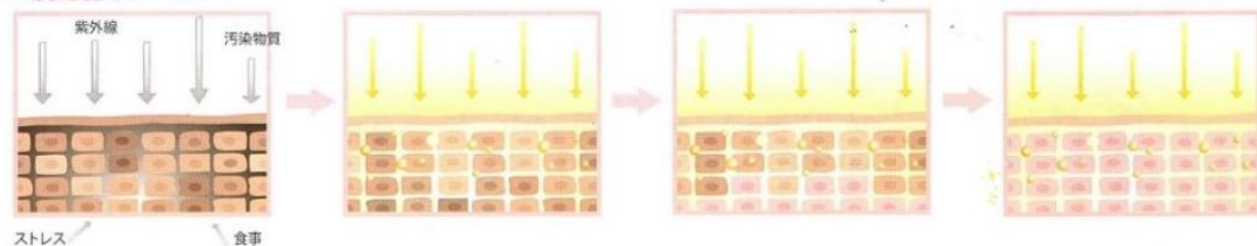
カタライザーにはアミノ酸、ミネラル、ビタミン（ビタミンC以外）の成分が豊富に含まれています

美肌は「つくる」だけでなく、「自分で守る」ことが大切。

肌のしくみを正しく知りそれをお客様へ伝えていくことが大切です。

カタライザーには**強力な抗酸化作用**があります。九州大学の研究では、熱に強く、時間に左右されないという研究結果があります。「いつでも抗酸化」が出来るカタライザーで細胞が活性化されて代謝が高まります！

<肌細胞イメージ>



くすりのファインが取り組む

脱保湿療法

脱ステロイド・脱保湿・脱プロトピック



Ⅰ 脱保湿療法とは？

当店では、難治化した成人型アトピー性皮膚炎や慢性皮膚炎に対する治療の一つとして、「脱ステロイド・脱保湿・脱プロトピック」を基本方針に掲げています。

脱保湿とは、保湿剤などによる外用をやめ、皮膚が本来持っている機能の回復を目指すという考え方です。

脱ステロイド

脱保湿

脱プロトピック

なぜ「保湿をやめる」の？

難治化したアトピー性皮膚炎や慢性皮膚炎について、本来の状態に加えて、ステロイド外用剤などによる依存性副作用が合併した状態という考え方です。



**治療の第一段階として、ステロイド・保湿剤・プロトピックなど
その他の外用薬からの離脱を行います。**

Ⅰ 脱保湿療法では何をする？

スパエナジー・カタライザー・銀河水以外は、何も使わない

ただし、単純に保湿剤をやめればよいというものではありません。くすりのファインでは、生活全体を含めた対応が必要だと考えています。

生活全体を含めた対応

- 皮膚状態の観察
- かき傷などの痛みや痒みへの対応
- 感染への対応
- 精神的なサポート
- 入浴方法の調整
- 仕事や学業への相談
- 食事・水分補給について

「脱保湿」と「乾燥させる」は同じ？

違います。

脱保湿療法では、保湿剤を使わないことを基本とします。

「肌をわざと傷める」「水分を極端に制限する」という意味ではありません。

必要な水分を摂取し、適切な入浴方法を行うなど、身体全体の状態を見ながら改善を目指していきます。

くすりのファインが考える保湿剤について

アトピー性皮膚炎や慢性皮膚トラブルの方は、乾燥肌であることが多く、悪化したときには、さまざまな炎症を抑える外用剤を使用し、軽快すると徐々に保湿剤に切り替えて、スキンケアをするということが普通に行われています。

※実際にほとんどの皮膚科では患者さんへこのような指導をしています。

よく使われる保湿剤

ワセリン、尿素軟膏、アズノール、ユベラ軟膏、ザーネ軟膏、ヒルドイド軟膏、ビーソフテン、あるいは、スタデルム軟膏などの非ステロイド系消炎剤

※その他天然オイル（スクワラン、オリーブオイル、馬油など）

しかし――

べたつく・調子が悪くなる・痒くなる
人がある

中にはパッチテストで陽性の接触皮膚炎

特に治り難い、経過の長い方は「保湿剤を塗ることに依存している状態」がある

佐藤健二先生の報告（1996年）

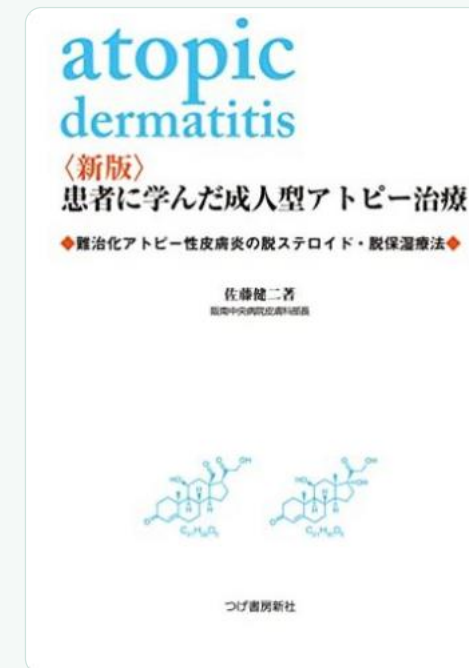
資料⑤

1996年、名古屋市立大学医学部皮膚科助教授の佐藤健二先生（現在 阪南病院 皮膚科部長）が、「重症成人型アトピー性皮膚炎患者のステロイド外用剤離脱」（皮膚 38巻4号:440-447, 1996年）で報告しています。その中に『保湿剤が有害となる』という項目があります。

脱ステロイド後、症状が軽くなった時期には、保湿剤（天然オイル）は皮膚に悪い影響を及ぼします。…赤みなど皮膚の症状をよくするためには、保湿ではなく乾燥が必要です。

ワセリン・アズノール軟膏・種々のクリーム・化粧水・馬油・オリーブオイルなど、ほとんどすべての油は、赤みなどを持続させるように働きます。

女性は化粧ができるかどうか気になります……化粧も一種の保湿ですので、脱ステロイド終了後、**少なくとも1年間は我慢して**いただいています。



佐藤健二 著『〈新版〉患者に学んだ成人型アトピー治療 難治化アトピー性皮膚炎の脱ステロイド・脱保湿療法』（つげ書房新社）

なぜ、なかなか良くならないのか

脱ステロイドをして1年、2年以上たったにもかかわらず、なぜなかなか良くならないのか。
多くの方がはまっているのが――

『保湿剤依存症』

ワセリンやアズノール、オリーブ油、馬油などの油脂性軟膏や保湿用化粧品を、始終、絶え間なく塗っている。

アトピーの皮膚にワセリンを塗ると当面の保湿効果が得られ、しっとりと安心できます――それは、ステロイド外用剤で当座の症状が抑えられその場の辛さをしのげるのとよく似ています。

Ⅰ 皮膚科の主流と脱保湿

脱保湿、これは、特に治り難い経過の長いアトピー性皮膚炎や慢性皮膚トラブルの方に効果があります。

この考え方の治療法は、アトピー性皮膚炎や慢性皮膚トラブルをステロイド外用剤に頼らずに治療するという考えを持っている皮膚科医の間では、よく知れ渡っている方法で、素晴らしい成果を上げています。

皮膚科の主流の考え方

ステロイド外用剤を第一選択に用いて治療する



軽快するとプロペトなどの保湿剤でスキンケアする

その後の経過

それでよくなる症例もあります

逆にステロイド依存性皮膚症となり、悪化の一途をたどり、二進も三進も行かなくなり、やむを得ず脱ステを試みることになりますが、それでもなかなか改善しないということがしばしばあります。

※最近では、ステロイド以外の塗り薬（プロトピック軟膏、抗生物質軟膏、ロゼックス軟膏、コレクチム軟膏など）も長期使用すると依存性があり、中止するとステロイドと同じようなりバウンドが起こるケースが増えています。

Ⅰ 当店のアプローチ

脱ステロイド、脱保湿剤を行ってすぐに、カタライザー（糖鎖栄養素）と銀河水を使用してもらいます。

1 脱ステ・脱保湿の開始

ステロイド外用剤やその他の外用薬、保湿剤の外用をやめる

2 スパエナジー・カタライザー・銀河水をすぐに使用

カタライザー（糖鎖栄養素）と銀河水のスキンケアを即開始

3 天然成分による殺菌作用

感染症やリンパ液による滲出が起こることもない

4 ターンオーバーを促す

乾燥ガビガビからツルツルのお肌へ、早くスムーズに変わっていく

※「乾燥ガビガビ療法」は既存の皮膚科の発想を逸脱する治療法です。保湿剤依存では治りません——医師も患者も気付きにくいのが現状です。

なかなか、治らないアトピーの治療や慢性皮膚トラブルに、脱ステロイドを開始すると同時に脱保湿とカタライザーと銀河水のケアを行うと、リンパ液の滲出も少なく、一気に乾いて、短時間でリバウンドも乗り切って、早ければ1～3ヶ月で安定してきます。

リバウンドをどう乗り切るか

リバウンド期

急に乾燥ガビガビ、バリバリになり、角質や皮脂、リンパ液等の鱗屑（りんせつ）が付着し、肘が曲がらないことや口が開かないようになることもあります。

回復へ

しかし、乾燥→皮むけが続きながらだんだんと痒みは急減し、赤みも徐々に消えていきます。

3ヶ月

早い場合は3ヶ月ぐらいで、つるつる肌になります。

Ⅰ 欧州に転勤された奥様方に語り継がれた知恵

昔から、外交官や商社マンの奥様方の間で語り継がれてきたことに、

『欧州（特に寒い地域）に行っても、顔が乾燥して、ガビガビになるけれど、ぜったい乳液やクリームを塗ってはだめよ。何も塗らないで我慢していれば、そのうち向こうの気候になれて肌がしっとりしてくるから』

確かに、女性の顔の接触皮膚炎、いろいろパッチテストをやって、抗原を調べるのも意味はありますが、何よりも、乳液、クリームを止めてカタライザーや銀河水のスキンケアを行うだけで、肌の調子が軽快することを私どもはたくさん経験してきました。

Ⅰ 美肌・スキンケアを考えるときに

一般的な「美肌」の話では、「保湿＝良いこと」と考えがちです。

しかし、アトピー性皮膚炎などの慢性皮膚トラブルでは、「誰に、いつ、どのような保湿が必要なのか」を考えることが大切です。

「保湿する・しない」ではなく、「その人の皮膚状態に合ったケア」

大事なのは、正常なターンオーバーを繰り返していくことです。

最終的には、自分自身の皮脂膜で保湿剤がいないお肌＝美肌を目指します。

正常なターンオーバーを繰り返すことが、美肌への柱です。

くすりのファインおすすめの商品

01



別府明礬温泉湯の花エキス
スパエナジー温浴

お肌表面の殺菌と温浴効果で代謝を**アップ**

02



カタライザー、銀河水の塗布
(飲用も併用するとスピードアップ)

炎症を抑え、肌の内側にたまった老廃物を排出。巡りをよくする

03

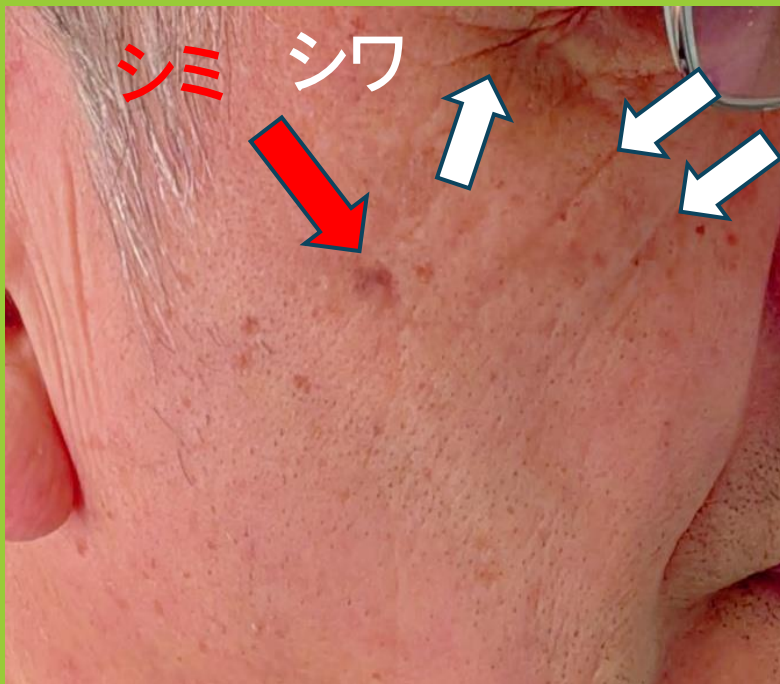


**その方のお肌に合ったものを
足してゆく**

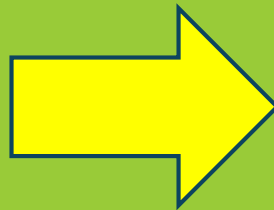
お悩みや目指す美肌のアイテムを選択

共に、お客様の「きれいを育てる」力に。

シミ・シワが改善したお客様の声 77歳男性



約8か月後



シミも確実に薄くなりました。シワも目立ちにくくなり、保湿力も上がったため肌が柔らかくなりました！！

70代からでも遅くないんですね。(奥様より)

＜使用した商品：カタライザー、銀河水、カタライザーオールインワンジェル他＞ ※もともとスキンケアは何もされておられない方です